

事前伺い

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

奈良女子大学 生活環境学部 心身健康学科・情報衣環境学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 奈良女子大学
平成27年5月1日現在

Table with contact information for the responsible person, including name, title, phone numbers, fax, and email.

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 生活環境学部

<心身健康学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	5
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	23
6. 留意事項等に対する履行状況等	25
7. その他全般的事項	27

<情報衣環境学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	29
2. 授業科目の概要	33
3. 施設・設備の整備状況、経費	41
4. 既設大学等の状況	43
5. 教員組織の状況	45
6. 留意事項等に対する履行状況等	47
7. その他全般的事項	49



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください (入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合 (平成27年度までの4年間) ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称 (学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生活環境学部 心身健康学科 学士 (生活健康科学)	4年	40人	年次人 3年次 14 (学部全体)	160人  28	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を ( ) 書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

心身健康学科

対象年度 区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 提出年度まで の平均入学定 員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40 ( - ) [ - ]		40 ( - ) [ - ]		( ) [ ]		( ) [ ]		1.03倍	— 倍	
志願者数	164 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	134 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
受験者数	122 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	96 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
合格者数	49 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	47 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
B 入学者数	42 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	41 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]				
入学定員超過率 B/A	1.05		1.02								

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」) により, 我が国の大学 (大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校 (専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期 (春季入学以外の学期区分を設けている場合) に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率と同様**」にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学 (「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学) のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

心身健康学科

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 42	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 41	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] ( - ) 41	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次					/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計			[ - ] ( - ) 42	[ - ] ( - ) 83			[ ] ( )	[ ] ( )	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

心身健康学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	42 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他大学へ進学するため。	0.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	41 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	83 人	1 人					0.0 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<生活環境学部 心身健康学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
学部共通科目	生活環境学原論	1後	2								兼1	①担当予定の准教授が教授に昇任。②助教の代わりに准教授が担当。③准教授を追加。(26)
	児童学	2前		2							兼1	
	家庭機械・家庭電気・情報処理	1後		2							兼1	
	ジェンダー文化論	2前		2							兼1	
学科必修科目	心身健康学概論Ⅰ	1前	2			5 <del>6</del> -5	5 <del>4</del> -3			+		採用した准教授を担当に追加したことにより、教授を1名減じた。(27)
	心身健康学概論Ⅱ 女性健康論	1前 1後	2 2			4 1	3 <del>4</del>			2		授業内容に適切な担当者を配置した結果、准教授1名を減じたこととした。(26)
学科専門基礎科目 (総合選択科目)	生活健康学概論	1後		2		4 3	2 1					担当予定の准教授が教授に昇任したため。(26)
	衛生・公衆衛生学	2後		2							兼1	新しい研究分野を担当できる助教が准教授に昇任したことに伴い准教授1名を追加(27)
	生活内科学	2前		2		1						担当者が准教授から教授に昇任したため。(27)
	高齢者生活環境論	2後		2		1	1					
	人体生理学	1前		2		1						
	スポーツ生理学	1後		2			1					
	人体解剖学	2前		2							兼1	
	運動医学論	2前集		2							兼1	
	環境生理学	2後		2				1				
	スポーツバイオメカニクス	1後		2		1						
	体育・スポーツ事故論	1前		2		1						
	生活と生涯スポーツ論	1前		2				1				
	シーズンスポーツ実習・冬	1後		1				2				
	認知神経科学論	1後		2					1			
	身体表現学	2前		2		1						
生活行動変容論演習	2前		2					1				
家族心理学	2前		2					1			兼1 担当できる准教授を採用(27)	
犯罪心理学	2前		2					1				
教育臨床心理学	2後		2		1							
発達臨床心理学	2後		2					1				
生活科専門応用科目	食物科学概論	1前		2							兼6	助教が准教授に昇任したため当該専任准教授が担当(27)
	住環境学概論	1前		2							兼7	
	食健康論	2前		2				1			兼10	
	育児学	2前		2							兼1	
	自律神経科学	3前		2							兼1	
	栄養生理学	3後		2							兼1	
	被服衛生学	3前		2				1				
	被服生理学	3前		2				1				
	生活行動科学	3前		2		1						
	生活保健学	3前		2		1						
	食環境論	3後		2							兼1	
	環境人間工学	3前		2					1			
生活健康学基礎実験	2後		2					1		兼10 助教が准教授に昇任したため当該専任准教授が担当(27)		
環境人間工学実習	3後		2					1				
栄養学実験	3後		2		1				1			

	調理学実習	1前	1						兼1	
	ストレスの科学実習	2後	2	1			+			担当助教が退職(27)
	人体生理学実習	2後	2		1		+			
	人体計測実習	3前	2						兼1	
スポーツ健康科学 専攻 科目	体育・スポーツ史	2前	2	1					兼1	
	学校保健	2後	2						兼1	
	スポーツ心理学	3前	2		1				兼1	
	身体運動制御論	3前	2	1					兼1	
	スポーツ法学	3後	2	1					兼1	
	身体コミュニケーション論	3後	2	1					兼1	
	体育社会学	3後	2		1				兼1	
	スポーツ精神生理学	3前	2		1				兼1	
	身体表現実習	2後	1	1					兼1	
	基礎運動実習	2後	1						兼1	
	個人スポーツ実習A	2後	1	1					兼1	
	個人スポーツ実習B	3前	1						兼1	
	チームスポーツ実習A	3前 2後	1			1			兼1	文学部開講科目担当との調整を図ったため。(27)
	チームスポーツ実習B	3前	1	1					兼1	
	ボディワーク実習	3後	1						兼1	
	武道実習	3後	1			1			兼1	専任教授を担当として追加(27)
シーズンスポーツ実習・夏	2前	1	1					兼1		
地域連携運動演習	3後	2	3	3				兼1		
スポーツ健康科学演習A	3前	2	1	1				兼1		
スポーツ健康科学演習B	3後	2	2	1				兼1		
スポーツ健康科学入門演習I	2後	2	2	3	3			兼1	専任担当教員を追加(27)	
スポーツ健康科学入門演習II	3前	2	2	2	1			兼1		
臨床心理学 専攻 科目	学校臨床心理学	3前	2	1					兼1	
	カウンセリング論	3前	2		1				兼1	
	心理療法学	3後	2						兼1	
	人格形成論	3後	2		1				兼1	
	心理検査法	3前	2				1		兼1	
	心理統計	3後	2				1		兼1	
	臨床心理学実習	3前	2	2	2	2	2		兼1	
心理学実験演習	3後	2	2	2	2	2		兼1		
卒業研究 科目	心身健康学研究演習I	3前	2	9	7	3				
	心身健康学研究演習II	3後	2	9	7	3				
	心身健康学卒業演習I	4前	2	9	7	3				
	心身健康学卒業演習II	4後	2	9	7	3				
	卒業研究I	4前	6	9	7	3				
	卒業研究II	4後	6	9	7	3				

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 4	科目 78	科目 0	科目 82	科目 4 [ 0 ]	科目 78 [ 0 ]	科目 0 [ 0 ]	科目 82 [ 0 ]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{82} = 0.00$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<生活環境学部 心身健康学科・情報衣環境学科共通 全学共通教養教育科目>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主題科目	日本国憲法	1・2・3・4前		2							兼2	オムバス
	部落史と部落問題	1・2・3・4前		2							兼2	オムバス
	人権と差別	1・2・3・4後		2							7 兼6	オムバス
	いのちと健康	1・2・3・4前		2							兼1	
	生活と健康	1・2・3・4後		2							兼1	
	ジェンダー論入門	1・2・3・4前		2							6 兼4	オムバス
	女性と社会	1・2・3・4後		2		1					6 兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) オムバス 心1
	共生科学	1・2・3・4前		2							兼5	オムバス
	地域のくらしとグローバル社会	1・2・3・4後		2							兼5	オムバス
	大学生活入門	1前		2							兼12	オムバス
	異文化理解と国際協力	1・2・3・4前		2							3 兼2	
	異文化理解と平和構築	1・2・3・4後		2							3 兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)
	現代社会と職業	1・2・3・4前		2							2 兼1	
	アジア学入門	1・2・3・4前		2							兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	アラビアの言語と文化	1・2・3・4後		2							兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	ベトナムの言語と文化	1・2・3・4後		2							兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	基礎科目群	一般基礎英語 コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後		1							兼12 14
実践基礎英語 ブラティカル・イングリッシュ		1前・後		1							兼14 29	
エクステンシブリーディング(英語)		2前・後		1							10 兼11	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)
オラルコミュニケーション(英語)		2前・後		1							10 兼12	
イングリッシュ・ワークショップ(中級)I		2・3・4前		1							兼1	隔年
イングリッシュ・ワークショップ(中級)II		2・3・4後		1							兼1	隔年
イングリッシュ・ワークショップ(上級)I		2・3・4前		1							兼1	隔年
イングリッシュ・ワークショップ(上級)II		2・3・4後		1							兼1	隔年
アドバンスト・イングリッシュA I		2前・後		1							兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
アドバンスト・イングリッシュB I		2前・後		1							兼1	
アドバンスト・イングリッシュA II		2前・後		1							兼1	
アドバンスト・イングリッシュB II	2前・後		1							兼1		
ドイツ語 I A	1前・後		1							5 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)	
ドイツ語 I B	1前・後		1							兼6		

外国語科目	ドイツ語ⅡA	2・3・4前	1						兼3	
	ドイツ語ⅡB	2・3・4後	1						兼2	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前	1						兼1	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4後	1						兼1	
	フランス語ⅠA	1前・後	1						兼4	
	フランス語ⅠB	1前・後	1						兼5	
	フランス語ⅡA	2・3・4前	1						兼3	
	フランス語ⅡB	2・3・4後	1						兼3	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前	1						兼1	
	フランス語Ⅳ	2・3・4後	1						兼1	
	スペイン語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	スペイン語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	スペイン語中級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
	スペイン語中級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
	中国語Ⅰ	1前・後	1						兼5	
	中国語Ⅱ	2・3・4前・後	1						兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)
	中国語Ⅲ	2・3・4前	1						兼5	
	中国語Ⅳ	2・3・4後	1						兼1	
	中国語検定初級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1	
	中国語検定初級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1	
	中国語検定中級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	
	中国語検定中級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	
	ロシア語初級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	
	ロシア語初級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	
	ロシア語中級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	
	ロシア語中級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	
	韓国語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1	
韓国語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1		
韓国語中級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1		
韓国語中級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1		
日本語科目	日本語ⅠA	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅠB	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
	日本語ⅠC	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅠD	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
	日本語ⅡA	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅡB	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
	日本語ⅡC	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅡD	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
基礎科目群 保健体育科目	健康運動実習Ⅰ	1前	1		3	2		1	4 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心6
	健康運動実習Ⅱ	1後	1		3	2		1	4 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心6
	スポーツ実習A	2・3・4前・後	1		1				2 兼3	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心1
	スポーツ実習B	2・3・4前・後	1						兼1	

	スポーツ実習C	2・3・4前・後	1	2	2 4			兼3	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心-3-4
情報処理科目	情報処理入門Ⅰ	1前	2	1	2 4	1		4 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27) 情 2 3 ※実習 全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 情2
	情報処理入門Ⅱ	1・2・3・4後	2	1 -2				兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27) 情1 ※実習 全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 情2
	情報基礎	1・2・3・4後	2	1					全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)情1
教養科目群	パサーージュ	1前	1	2				兼18	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27) 心1. 情1
	哲学の歴史	1・2・3・4前	2					兼1	
	哲学の基本問題	1・2・3・4後	2					兼1	
	現代の倫理	1・2・3・4前	2					兼1	
	現代倫理学の課題	1・2・3・4後	2					兼1	
	現代宗教学への招待	1・2・3・4前	2					兼1	
	現代世界と宗教の意味	1・2・3・4後	2					兼1	
	心の科学への招待	1・2・3・4前	2					兼1	
	心の科学の現在	1・2・3・4後	2					兼1	
	歴史学	1・2・3・4前	2					兼1	
	シルクロードと古代日本	1・2・3・4後	2					兼3	オムバス
	日本の言語と文学	1・2・3・4前	2					兼1	
	日本の文学を読む	1・2・3・4後	2					兼1	
	ことばのしくみ	1・2・3・4前	2					兼1	隔年
	ことばと文化	1・2・3・4後	2					兼1	隔年
	西洋の言語と文化	1・2・3・4前	2					兼1	
	日本の美と芸術	1・2・3・4後	2					兼1	
	西洋の美と芸術	1・2・3・4前	2					兼1	
	音楽概説	1・2・3・4後	2					兼1	
	暮らしの中の地理学	1・2・3・4前	2					兼1	隔年
	文化と民族	1・2・3・4後	2					兼1	
	地域の人と環境	1・2・3・4前	2					兼1	隔年
	日本とヨーロッパ	1・2・3・4後	2					兼1	
人類史Ⅰ	1・2・3・4前	2					5 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)	
人類史Ⅱ	1・2・3・4後	2					兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)	
考古科学ゼミ	1・2・3・4前	2					兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)	
なら学	1・2・3・4前	2					兼13	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)	
持続可能な社会(放射線の科学と思想)	1・2・3・4後	2					兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)	
社会に出るまでに知っておきたい科学—物語としての科学—	1・2・3・4前	2					兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)	

科学の言語としての数学	1-2-3-4後	2				兼4	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
社会学入門	1-2-3-4前	2				兼2	オムニバス
現代社会論	1-2-3-4後	2				兼1	
社会心理学入門	1-2-3-4前	2				兼1	
法律学概論	1-2-3-4前	2				兼1	
政治学	1-2-3-4前	2				兼1	
国際関係論	1-2-3-4後	2				兼1	
基礎経済学	1-2-3-4後	2				兼1	
暮らしの経済学	1-2-3-4後	2				兼1	隔年
統計入門	1-2-3-4前	2				兼1	
統計	1-2-3-4後	2				兼1	
ジェンダーから見た人間と社会	1-2-3-4後	2				兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
数学入門	1-2-3-4後	2	4			兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による開講時期及び教員配置変更(27)
数学アラカルト	1-2-3-4後	2	1			兼1	
物理学の考え方	2-3-4前	2	1			兼1	
生活の中の物理学	1-2-3-4後	2	1			兼1	
化学の常識	1-2-3-4後	2	1			兼1	
化学の世界	1-2前	2	1			兼1	
環境と生物	1-2-3-4後	2	1			兼1	
細胞と生命	1-2-3-4前	2	1			兼1	
ジェンダー生理学	1-2-3-4前	2				兼1	
生体機能と環境				1			全学共通教養教育科目編成の変更による名称変更及び教員配置変更(26)
生体機能と性差	1-2-3-4後	2	4			心1	
地学入門	1-2-3-4前	2				兼1	
地球環境	1-2-3-4後	2				兼1	
科学史入門	1-2-3-4前	2				兼1	隔年
科学史	1-2-3-4前	2				兼1	隔年
生活と色彩	1-2-3-4後	2				兼1	
色彩心理	1-2-3-4後	2				兼1	
自然環境の地理学	1-2-3-4後	2				兼1	
シルクロードと自然環境	1-2-3-4後	2				兼1	
健康・スポーツ科学	1-2-3-4後	2	1			心1	
生活と科学	1-2-3-4後	2	4			2	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26)
普遍性の生物学	1-2-3-4前	2	3		1	兼7	心1-2 情-2-3
多様性の生物学	1-2-3-4後	2				兼2	オムニバス
生命・運動・健康	1-2-3-4後	2		1		兼4	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26)
			2	2	2		オムニバス 心-2-3

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	116	0	118	2	137	0	139	
				[ 0 ]	[ 21 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)
--------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{118} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。



### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校舎敷地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	運動場用地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規採用のため (27)		
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -5 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m <sup>2</sup>							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m <sup>2</sup>							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA/C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	取定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部> 文学部								奈良県奈良市 北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士 (文学)	一括募集 1.05	昭和24年度 平成7年度		平成20年度 現学科 名に名称変更
言語文化学科	4	50		200	学士 (文学)		平成7年度		
人間科学科	4	40		180	学士 (文学)		平成7年度		平成20年度 現学科 名に名称変更 平成26年度から入学 定員変更50⇒40
(学部共通)			3年次 20	40					
理学部								奈良県奈良市 北魚屋西町	
数物科学科	4	63		126	学士 (理学)	1.04	昭和28年度 平成26年度		
化学生命環境学科	4	87		174	学士 (理学)	1.07	平成26年度		
数学科	4	-		-	学士 (理学)	-	昭和28年度		
物理科学科	4	-		-	学士 (理学)	-	平成8年度		
化学科	4	-		-	学士 (理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生 募集停止(3年次編入 を除く)
生物科学科	4	-		-	学士 (理学)	-	平成8年度		
情報科学科	4	-		-	学士 (理学)	-	平成3年度		
(学部共通)			3年次 10	20					
生活環境学部								奈良県奈良市 北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35		140	学士 (生活環 境学)	1.09	平成5年度 平成17年度		
心身健康学科	4	40		80	学士 (生活健 康科学)	1.03	平成26年度		
情報衣環境学科	4	35		70	学士 (生活環 境学)	1.09	平成26年度		
住環境学科	4	35		140	学士 (生活環 境学)	1.08	平成18年度		
生活文化学科	4	30		120	学士 (生活環 境学)	1.08	平成18年度		
生活健康・衣環境学科	4	-		-	学士 (生活環 境学)	-	平成17年度		平成26年度から学生 募集停止(3年次編入 を除く)
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 10	20					

<大学院>						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町
人間文化研究科							
(博士前期課程)							
国際社会文化学専攻	2	24	-	48	0.44	平成10年度	
言語文化学専攻	2	24	-	48	0.39	平成10年度	
人間行動科学専攻	2	18	-	36	1.03	平成10年度	
食物栄養学専攻	2	11	-	22	1.13	平成19年度	
心身健康学専攻	2	25	-	50	0.70	平成26年度	
住環境学専攻	2	11	-	22	1.54	平成19年度	
生活文化学専攻	2	9	-	18	1.17	平成19年度	
数学専攻	2	14	-	28	0.86	平成10年度	
物理科学専攻	2	14	-	28	0.86	平成10年度	
化学専攻	2	14	-	28	1.57	平成10年度	
生物科学専攻	2	16	-	32	1.34	平成10年度	
情報科学専攻	2	12	-	24	1.29	平成10年度	
生活健康・衣環境学専攻	2	-	-	-	-	平成19年度	平成26年度から学生募集停止
(博士後期課程)							
比較文化学専攻	3	12	-	36	0.46	平成11年度	
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.80	平成15年度	
共生自然科学専攻	3	15	-	45	0.41	平成15年度	
複合現象科学専攻	3	8	-	24	0.45	平成15年度	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生活環境学部 心身健康学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	○○○○ (○○)	平成24年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (○○)	平成25年4月	国際経済学	平成25年3月 ○○○教授昇任のため 平成25年度より担当者の 変更(25)  平成25年7月 AC教員審査済(26)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (○○)	平成25年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成25年4月	商法						……………のため、就任が遅延 (25)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成26年10月	金融論			後任未定			平成26年10月 □□□□准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成27年4月	○○○○論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
9	7	0	3	19	9	6	2	0	17	63	0	63	2
(10)	(6)	(0)	(3)	(19)	[0]	[△1]	[2]	[△3]	[△2]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「-」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



## 7 その他全般的事項

<生活環境学部学部 心身健康学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年5月1日 公表</li></ul> <p>b 公表方法</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布</li><li>・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月末を予定）</li></ul> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成27年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</li></ul>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成 27年 6月 (初旬) 日 )</p>
---

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生活環境学部 情報環境学科 学士(生活環境学)	4年	35人	年次人 3年次 14 (学部全体)	140人 28	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

情報環境学科

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	35 ( - ) [ - ]		35 ( - ) [ - ]		( ) [ ]		( ) [ ]		1.09倍	— 倍	
志願者数	130 ( - ) [ 1 ]	( ) [ ]	115 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]							
受験者数	85 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	88 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	53 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	41 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	40 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	37 ( - ) [ 0 ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.14		1.05								

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

情報衣環境学科

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 40	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 37	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ]	[ ]	
2年次	/		[ - ] ( - ) 40	[ - ] ( - ) -	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
4年次	/				[ ] ( )	[ ] ( )			
計			[ - ] ( - ) 40	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) 77	[ ] ( )	[ ] ( )		

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

情報衣環境学科

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	40 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成27年度	0 人	0 人		
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成27年度 入学者	37 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成28年度	人	人		
			平成29年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	人	平成28年度	人	人		%
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	77 人	0 人					0.0 %

(注)・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他





(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{86} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

<生活環境学部 心身健康学科・情報衣環境学科共通 全学共通教養教育科目>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主題科目	日本国憲法	1-2-3-4前		2							兼2	オムバス
	部落史と部落問題	1-2-3-4前		2							兼2	オムバス
	人権と差別	1-2-3-4後		2							7 兼6	オムバス
	いのちと健康	1-2-3-4前		2							兼1	
	生活と健康	1-2-3-4後		2							兼1	
	ジェンダー論入門	1-2-3-4前		2							6 兼4	オムバス
	女性と社会	1-2-3-4後		2		1					6 兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) オムバス 心1
	共生科学	1-2-3-4前		2							兼5	オムバス
	地域のくらしとグローバル社会	1-2-3-4後		2							兼5	オムバス
	大学生活入門	1前		2							兼12	オムバス
	異文化理解と国際協力	1-2-3-4前		2							3 兼2	
	異文化理解と平和構築	1-2-3-4後		2							3 兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)
	現代社会と職業	1-2-3-4前		2							2 兼1	
	アジア学入門	1-2-3-4前		2							兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	アラビアの言語と文化	1-2-3-4後		2							兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	ベトナムの言語と文化	1-2-3-4後		2							兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
基礎科目群	一般基礎英語 コンプリヘンシブ・イングリッシュ	1前・後		1							兼12 14	全学共通教養教育科目編成の変更による科目名変更(27)
	実践基礎英語 ブラティカル・イングリッシュ	1前・後		1							兼14 29	
	エクステンシブリーディング(英語)	2前・後		1							10 兼11	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)
	オラルコミュニケーション(英語)	2前・後		1							兼12	
	イングリッシュ・ワークショップ(中級)I	2-3-4前		1							兼1	隔年
	イングリッシュ・ワークショップ(中級)II	2-3-4後		1							兼1	隔年
	イングリッシュ・ワークショップ(上級)I	2-3-4前		1							兼1	隔年
	イングリッシュ・ワークショップ(上級)II	2-3-4後		1							兼1	隔年
	アドバンスト・イングリッシュA I	2前・後		1							兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
	アドバンスト・イングリッシュB I	2前・後		1							兼1	
	アドバンスト・イングリッシュA II	2前・後		1							兼1	
アドバンスト・イングリッシュB II	2前・後		1							兼1		
ドイツ語 I A	1前・後		1							5 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)	
ドイツ語 I B	1前・後		1							兼6		

外国語科目	ドイツ語ⅡA	2・3・4前	1						兼3	
	ドイツ語ⅡB	2・3・4後	1						兼2	
	ドイツ語Ⅲ	2・3・4前	1						兼1	
	ドイツ語Ⅳ	2・3・4後	1						兼1	
	フランス語ⅠA	1前・後	1						兼4	
	フランス語ⅠB	1前・後	1						兼5	
	フランス語ⅡA	2・3・4前	1						兼3	
	フランス語ⅡB	2・3・4後	1						兼3	
	フランス語Ⅲ	2・3・4前	1						兼1	
	フランス語Ⅳ	2・3・4後	1						兼1	
	スペイン語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	スペイン語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)
	スペイン語中級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
	スペイン語中級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
	中国語Ⅰ	1前・後	1						兼5	
	中国語Ⅱ	2・3・4前・後	1						兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27)
	中国語Ⅲ	2・3・4前	1						兼5	
	中国語Ⅳ	2・3・4後	1						兼1	
	中国語検定初級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1	
	中国語検定初級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1	
	中国語検定中級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	
	中国語検定中級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	
	ロシア語初級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	
	ロシア語初級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	
	ロシア語中級Ⅰ	2・3・4前	1						兼1	
	ロシア語中級Ⅱ	2・3・4後	1						兼1	
	韓国語初級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1	
韓国語初級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1		
韓国語中級Ⅰ	1・2・3・4前	1						兼1		
韓国語中級Ⅱ	1・2・3・4後	1						兼1		
日本語科目	日本語ⅠA	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅠB	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
	日本語ⅠC	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅠD	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
	日本語ⅡA	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅡB	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
	日本語ⅡC	1・2・3・4前	1						兼1	※講義
	日本語ⅡD	1・2・3・4後	1						兼1	※講義
基礎科目群 保健体育科目	健康運動実習Ⅰ	1前	1		3	2		1	4 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心6
	健康運動実習Ⅱ	1後	1		3	2		1	4 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心6
	スポーツ実習A	2・3・4前・後	1		1				2 兼3	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心1
	スポーツ実習B	2・3・4前・後	1						兼1	

	スポーツ実習C	2・3・4前・後	1	2	2 4			兼3	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 心-3-4
情報処理科目	情報処理入門I	1前	2	1	2 4	1		4 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27) 情2 3 ※実習 全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 情2
	情報処理入門II	1・2・3・4後	2	1 -2				兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(27) 情1 ※実習 全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26) 情2
	情報基礎	1・2・3・4後	2	1					全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)情1
教養科目群	パサーージュ	1前	1	2				兼18	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27) 心1. 情1
	哲学の歴史	1・2・3・4前	2					兼1	
	哲学の基本問題	1・2・3・4後	2					兼1	
	現代の倫理	1・2・3・4前	2					兼1	
	現代倫理学の課題	1・2・3・4後	2					兼1	
	現代宗教学への招待	1・2・3・4前	2					兼1	
	現代世界と宗教の意味	1・2・3・4後	2					兼1	
	心の科学への招待	1・2・3・4前	2					兼1	
	心の科学の現在	1・2・3・4後	2					兼1	
	歴史学	1・2・3・4前	2					兼1	
	シルクロードと古代日本	1・2・3・4後	2					兼3	オムバス
	日本の言語と文学	1・2・3・4前	2					兼1	
	日本の文学を読む	1・2・3・4後	2					兼1	
	ことばのしくみ	1・2・3・4前	2					兼1	隔年
	ことばと文化	1・2・3・4後	2					兼1	隔年
	西洋の言語と文化	1・2・3・4前	2					兼1	
	日本の美と芸術	1・2・3・4後	2					兼1	
	西洋の美と芸術	1・2・3・4前	2					兼1	
	音楽概説	1・2・3・4後	2					兼1	
	暮らしの中の地理学	1・2・3・4前	2					兼1	隔年
	文化と民族	1・2・3・4後	2					兼1	
	地域の人と環境	1・2・3・4前	2					兼1	隔年
	日本とヨーロッパ	1・2・3・4後	2					兼1	
人類史I	1・2・3・4前	2					5 兼6	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)	
人類史II	1・2・3・4後	2					兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)	
考古科学ゼミ	1・2・3・4前	2					兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(26)	
なら学	1・2・3・4前	2					兼13	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)	
持続可能な社会(放射線の科学と思想)	1・2・3・4後	2					兼2	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)	
社会に出るまでに知っておきたい科学 —物語のとしての科学—	1・2・3・4前	2					兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)	

科学の言語としての数学	1-2-3-4後	2					兼4	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
社会学入門	1-2-3-4前	2					兼2	オムニバス
現代社会論	1-2-3-4後	2					兼1	
社会心理学入門	1-2-3-4前	2					兼1	
法律学概論	1-2-3-4前	2					兼1	
政治学	1-2-3-4前	2					兼1	
国際関係論	1-2-3-4後	2					兼1	
基礎経済学	1-2-3-4後	2					兼1	
暮らしの経済学	1-2-3-4後	2					兼1	隔年
統計入門	1-2-3-4前	2					兼1	
統計	1-2-3-4後	2					兼1	
ジェンダーから見た人間と社会	1-2-3-4後	2					兼5	全学共通教養教育科目編成の変更による科目追加(27)
数学入門	1-2-3-4後	2	4				兼1	全学共通教養教育科目編成の変更による開講時期及び教員配置変更(27)
数学アラカルト	1-2-3-4後	2	1				兼1	
物理学の考え方	2-3-4前	2	1				兼1	
生活の中の物理学	1-2-3-4後	2	1				兼1	
化学の常識	1-2-3-4後	2	1				兼1	
化学の世界	1-2前	2	1				兼1	
環境と生物	1-2-3-4後	2	1				兼1	
細胞と生命	1-2-3-4前	2	1				兼1	
ジェンダー生理学	1-2-3-4前	2					兼1	
生体機能と環境				1				全学共通教養教育科目編成の変更による名称変更及び教員配置変更(26)
生体機能と性差	1-2-3-4後	2	4				心1	
地学入門	1-2-3-4前	2					兼1	
地球環境	1-2-3-4後	2					兼1	
科学史入門	1-2-3-4前	2					兼1	隔年
科学史	1-2-3-4前	2					兼1	隔年
生活と色彩	1-2-3-4後	2					兼1	
色彩心理	1-2-3-4後	2					兼1	
自然環境の地理学	1-2-3-4後	2					兼1	
シルクロードと自然環境	1-2-3-4後	2					兼1	
健康・スポーツ科学	1-2-3-4後	2	1				心1	
生活と科学	1-2-3-4後	2	4			1	2	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26)
普遍性の生物学	1-2-3-4前	2	3				兼7	心1-2 情-2-3
多様性の生物学	1-2-3-4後	2					兼2	オムニバス
生命・運動・健康	1-2-3-4後	2		1			兼4	全学共通教養教育科目編成の変更による教員配置変更(26)
			2	2				オムニバス 心-2-3

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
  - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	116	0	118	2	137	0	139	
				[ 0 ]	[ 21 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	(該当なし)					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{0}{118} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)		
	校 舎 敷 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	運 動 場 用 地	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	小 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
	そ の 他	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>			
合 計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用			
	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )	( m <sup>2</sup> )				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成27年4月 専任教授1名を新規 採用のため(27)		
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 -5 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
	計	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	[ ] ( [ ] )	( )	( )	( )	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m <sup>2</sup>							
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m <sup>2</sup>							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入定員	取定員	学位又は称号	平均定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部> 文学部								奈良県奈良市 北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士 (文学)	一括募集 1.05	昭和24年度 平成7年度		平成20年度 現学科 名に名称変更
言語文化学科	4	50		200	学士 (文学)		平成7年度		
人間科学科	4	40		180	学士 (文学)		平成7年度		平成20年度 現学科 名に名称変更 平成26年度から入学 定員変更50⇒40
(学部共通)			3年次 20	40					
理学部								奈良県奈良市 北魚屋西町	
数物科学科	4	63		126	学士 (理学)	1.04	昭和28年度 平成26年度		
化学生命環境学科	4	87		174	学士 (理学)	1.07	平成26年度		
数学科	4	-		-	学士 (理学)	-	昭和28年度		
物理科学科	4	-		-	学士 (理学)	-	平成8年度		
化学科	4	-		-	学士 (理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生 募集停止(3年次編入 を除く)
生物科学科	4	-		-	学士 (理学)	-	平成8年度		
情報科学科	4	-		-	学士 (理学)	-	平成3年度		
(学部共通)			3年次 10	20					
生活環境学部								奈良県奈良市 北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35		140	学士 (生活環 境学)	1.09	平成5年度 平成17年度		
心身健康学科	4	40		80	学士 (生活健 康科学)	1.03	平成26年度		
情報衣環境学科	4	35		70	学士 (生活環 境学)	1.09	平成26年度		
住環境学科	4	35		140	学士 (生活環 境学)	1.08	平成18年度		
生活文化学科	4	30		120	学士 (生活環 境学)	1.08	平成18年度		
生活健康・衣環境学科	4	-		-	学士 (生活環 境学)	-	平成17年度		平成26年度から学生 募集停止(3年次編入 を除く)
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 10	20					

<大学院>						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町
人間文化研究科							
(博士前期課程)							
国際社会文化学専攻	2	24	-	48	0.44	平成10年度	
言語文化学専攻	2	24	-	48	0.39	平成10年度	
人間行動科学専攻	2	18	-	36	1.03	平成10年度	
食物栄養学専攻	2	11	-	22	1.13	平成19年度	
心身健康学専攻	2	25	-	50	0.70	平成26年度	
住環境学専攻	2	11	-	22	1.54	平成19年度	
生活文化学専攻	2	9	-	18	1.17	平成19年度	
数学専攻	2	14	-	28	0.86	平成10年度	
物理科学専攻	2	14	-	28	0.86	平成10年度	
化学専攻	2	14	-	28	1.57	平成10年度	
生物科学専攻	2	16	-	32	1.34	平成10年度	
情報科学専攻	2	12	-	24	1.29	平成10年度	
生活健康・衣環境学専攻	2	-	-	-	-	平成19年度	平成26年度から学生募集停止
(博士後期課程)							
比較文化学専攻	3	12	-	36	0.46	平成11年度	
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.80	平成15年度	
共生自然科学専攻	3	15	-	45	0.41	平成15年度	
複合現象科学専攻	3	8	-	24	0.45	平成15年度	

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部, 学科)及び大学院(専攻)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・ 専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・ 「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生活環境学部 情報環境学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
(記入例) 専	教授	○○○○ (○○)	平成24年4月	国際経済学 日本経済概論	兼任	講師	◆◆◆◆ (○○)	平成25年4月	国際経済学	平成25年3月 ○○○教授昇任のため 平成25年度より担当者の 変更(25)  平成25年7月 A C教員審査済(26)
					兼任	講師	◇◇◇◇ (○○)	平成25年4月	日本経済概論	
					専	准教授	●●●● (○○)	平成25年10月	国際経済学 日本経済概論	
専	講師	△△△△ (○○)	平成25年4月	商 法						………のため、就任が遅延 (25)
専	准教授	□□□□ (○○)	平成26年10月	金 融 論			後任未定			平成26年10月 □□□□准教授就任辞退(27) 「後任未定」平成27年10月 から専任教員採用予定で 公募中。 「金融論」は、他に担当教 員が1名いるため、支障 はない。
					兼任	教授	▲▲▲▲ (○○)	平成27年4月	○○○○論	平成27年4月から 教育課程の充実を図るため 科目を追加(27)

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈○○学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成27年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。  
 ・ 「**事前伺い**」により設置された学部等については、**本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

[生活環境学部 情報環境学科]

設置時の計画					変更状況					年齢構成		年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
6	4	2	1	13	6	5	2	2	15	63	1	63	0
(6)	(5)	(2)	(2)	(15)	[0]	[1]	[0]	[1]	[2]	歳	名	歳	名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成27年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)  
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成27年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 「年齢構成(前年度の状況)」については、報告書提出の前年度の状況を記載してください。今年度初めて報告書を提出する場合は記入不要ですので、「一」を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未 履 行 事 項 について の 実 施 計 画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)		留意事項		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)		〇〇意見		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を( )書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。



## 7 その他全般的事項

<生活環境学部 情報衣環境学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位  ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため, 必修科目 (1 科目・2 単位) を追加。(別添〇「新旧対象表」参照)  ② 学生の修学環境を改善するため, 講義室, 自習室をそれぞれ〇部屋 (〇㎡) 増やすとともに, 図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で, 設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し, それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
  - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 当該項目を記載する必要はありません。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況  b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)  c 委員会の審議事項等  ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等  b 実施方法  c 開催状況 (教員の参加状況含む)  d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況  ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期  b 教員や学生への公開状況, 方法等
--

- (注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には, 関係規程等を転載又は添付すること。  
 「②実施状況」には, 実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については, 本項目を記載する必要はありません。

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>.....</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>記入例） ・平成27年5月1日 公表</p> <p>b 公表方法</p> <p>記入例） ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布 ・大学ホームページ上に公開予定（平成27年8月末を予定）</p> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>記入例） ・平成27年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>
--

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。  
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( 有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成 27年 6月 (初旬) 日 )</p>
---